

台湾中央電臺（台湾中央放送局）5月29日報道

## 日本の与那国町長は花蓮を拠点とし、 「琉球王国」の精神を發揮し、国際社会に希望を抱く。

日本の与那国町が花蓮市役所に設立した連絡事務所が、本日正式にオープンした。町長の外間守吉は最近、日本国内で日本の行政管轄から独立し、自主的に当地の経済貿易を發展させたいという類の発言をしたが、本日彼は開所式のなかで花蓮市を「国際経済を開拓する拠点」としたいと強調した。

彼は発言の中で必ず「琉球王国」と述べており、政治味は十分だ。

琉球群島に位置する日本与那国町の町長外間守吉は、中央政府が当地の發展を制限するばかりで、十分な予算配分がないことに耐えられなくなったと見て、花蓮市役所と相互に事務所を開設する機会を利用して、日本国内で独立發展をしたいというような発言を發表し、日本国内で注目されてきた。

彼はまた、事務所の開所式を利用して、翻譯文を通じ、琉球王国精神の理念を發表。花蓮市を拠点とし、国際社会に希望を抱き、花蓮市長蔡啓塔とともに、25年間結んできた兄弟精神を發揮し、何とか与那国が外交ボトルネックを突破して、両地域の産業經濟交流を促進したいとのべた。

外間守吉の花連訪問には当地の多くの記者が取材に来た。この政治ニュースを日本国内にフィードバックする意味は、非常に深いものがあるだろう。

日本與那國町長以花蓮為據點 發揮琉球王國精神胸懷國際  
中廣新聞網 (2007-05-29 13:09)

日本(與那國町)在花蓮市公所設立的「聯絡 公處」,今天正式 牌 用。由於町長「外間守吉」日前在日本國 發表了類似要 離日本行政管轄,自主發展當地經貿,今天他在 牌儀式當中再度強調,要以花蓮市為拓展國際經濟據點。他在談話當中還言必稱「琉球王國」,政治味十足。(梁國榮報導)

位在琉球群島的日本國與那國町町長外間守吉,對於中央限制當地發展,卻沒有給予充分的經費支援,看來是顯得很不耐煩了,利用與花蓮市公所互設 事處的機會,在日本國 發表類似要獨立發展的言論,引起日本國的注意。他也利用 事處 牌的儀式當中,透過翻譯發表了「琉球王國精神」理念,要以花蓮市為據點,胸懷國際而與與那國友好的花蓮市長蔡 塔,也發揮了締盟二十五年的兄弟精神,表示要配合與那國突破外交瓶頸,促進兩地地 經交流而外間守吉來到花蓮,還帶了當地許多記者前來參訪,要將這項政治訊息傳回日本國 的意味,相當濃厚